

令和元年度 前期学校アンケートの結果(7月実施)

10月2日(水)

内灘町立清湖小学校

保護者アンケートにご協力をありがとうございました。児童アンケート・教職員アンケートと比較できるよう並べてみました。ご覧ください。
 保護者アンケートより、多くの項目でA+Bを選んだ方が80%を超え、本校の学校教育にご理解いただけていることがうかがえ、ありがたく存じます。改善が必要なことにつきましては、方針を示して取り組んでいきます。これからも保護者のみなさまの信頼に応えられるよう、子供達の健全育成に家庭・地域とともに取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。
 なお、裏面には、保護者の皆様からお寄せいただきましたご意見と、それに対する学校の考えを載せました。
 ※保護者アンケートの割合(%)は、E(判断しにくい)については、全体(A~Eすべての合計)の中での割合、A~Dについては、Eを抜いた数字(A~Dの合計)の中での割合です。

No.	集計表 項目	数字は%	保護者					児童				教職員				考察・改善に向けて
			A	B	C	D	E	A	B	C	D	A	B	C	D	
1	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。		55	37	6	2	1	66	24	6	4					(児)「あまり楽しくない」、「楽しくない」と答えた児童が10%いる。学習・生活のあらゆる面から個々を見取って対応し、学校生活が楽しく送れるよう支援をしていく。
2	子どもは、授業に落ち着いて取り組んでいる。(授業参観等から)		38	50	8	3	2					11	63	26	0	(教)単元の学習の見直しをもたせることで、「問題意識が高まる課題づくり」を意識した授業を行う。明確な単元のゴールを設定し、児童と共有することで、課題を引き出す。
3	子どもは、生活の中で環境を大切に行動している(節電、節水、ごみの減量、残さず食べる等)。		22	51	24	4	2	62	30	8	0	0	67	33	0	(教)環境に関心を持つように啓発し、学校や家庭での実践を働きかける。児童委員会でも、全体の意識を高められるような取組を進めていく。
4	子どもは、家で読書に取り組んでいる。		16	31	33	20	3	27	37	23	14	12	59	24	6	(教)図書委員会のイベントを楽しみに図書室に行く児童が多かった。読書冊数に大きな個人差が見られるため、読書習慣のさらなる習慣化、読書数の個人差の解消を進めるため、教師自ら進んで声をかけていく。
5	子どもは、学習目標時間(10分間×学年以上、1年生は20分)以上の家庭学習(宿題・読書を含む)にきちんと取り組んでいる。		32	48	13	7	1	63	23	10	3	18	47	29	6	(保)定着していくように、家庭と協力しながら児童の学習習慣づくりを行っていく。ステップアップ週間を利用した呼びかけも継続して行う。 (教)個に応じた宿題の配慮を行う。休み時間や放課後等を利用して補充学習を行う。
6	子どもは、将来の夢や希望を持っている。		44	38	15	4	4	69	14	7	10					(教)自分の目標や夢を持つことの素晴らしさを、道徳や総合の学習、日々の生活の中で気づかせていく。また、学習面・生活面において、児童のよさを認める機会を多く作り自己有用感を高めていく。
7	子どもは、家庭や地域でしっかり挨拶をしている。		35	51	11	2	0	62	27	9	2	5	55	40	0	(教)教師が認めてシールを渡す、できていない子をはつきりさせて声かけをしていくなど、教師から働きかけてあいさつ運動に取り組む。
8	子どもは、学校生活や帰宅後の遊び等で、友だちと仲良くしている。		52	43	3	1	1	62	22	12	4	5	53	37	5	(教)保護者・地域との連携、アンケートや観察などから児童の実態を把握し、きめ細かな指導を行う。キラキラカードやありがとうカード、いいこと見つけなどの取組も継続して行っていく。
9	子どもは、何があってもいじめは絶対にしてはいけないとよく分かっている。		61	36	3	0	3					11	72	11	6	(教)どんな理由があっても、いじめはいけないということを繰り返し指導し、理解させていく。担任・級外に関係なく、学校全体で児童に目を配り、報告・連絡・相談を徹底して指導の共通理解・共通実践を図っていく。
10	子どもは、朝食をしっかり摂っている(複数品目の献立)。		47	38	12	3	0	80	13	5	2	11	89	0	0	(保)早寝・早起き・朝ご飯について啓発し、家庭も巻き込んだ取組を工夫する。保健便りなどを通して、現状や対応などを伝えていく。
11	子どもは、起床、就寝、テレビ・ゲーム等の時間を守っている。		24	36	28	11	1									(教)いきいき生活アンケートの結果から、個別の聞き取り・相談を行って児童の実態把握する。保護者と連携しながら個別に改善案を協議する。
12	子どもは、頑張っているところや良いところがある。		75	23	2	0	1	40	30	15	15	11	58	32	0	(教)意図的に褒める場を増やし、児童一人一人に自信や自尊感情を持てるようにしていく。教師が児童を認めることを継続しながら、児童が相互に認める場を意図的に設け、認め合える集団づくりを目指す。
13	子どもは、家庭での仕事(手伝い)を行っている(児童・教師は、学校での活動)。		37	45	14	5	1					0	85	15	0	(保教)保護者と連携しながら意識や意欲を高めていく。学校でも、掃除活動や委員会活動・係活動など児童の自主的な活動を尊重し、褒める事で全体に広めていく。
14	子どもは、交通事故や不審者から身を守るにはどうすれば良いかを知っている。		39	53	7	0	3					44	56	0	0	(教)保護者に学年だよりや学校だより、ホームページ等で発信していく。警察官をゲストティーチャーに招いた不審者対応訓練や、日々の交通安全指導など継続的に取り組んでいく。
15	先生は、子どもの困ったことや悩みに対して相談に乗っている。		45	47	6	1	12	75	17	5	3					(児)「あまり聞いてくれなかった」、「聞いてくれなかった」と答えた児童が8%いる。実態を把握し、気になる児童や配慮が必要な児童については、教師から積極的に声かけを行う。
16	先生は、子どもの頑張りや力の伸びを適切に認めている。		51	45	3	0	5	74	19	4	3	25	65	10	0	(教)様々な機会を捉えて、児童を認めたり褒めたりし、児童が自己肯定感を高められるようにしていく。
17	先生は、子どもの間違っただ言動をきちんと指導している。		52	42	5	1	9	83	12	2	3	10	75	10	5	(教)これからも、その場でしっかり指導できるように意識を高めていくとともに、どこが間違っていたのかを児童が理解できるような指導を心がけていく。職員間での共通理解を図り、どの職員でも共通し一貫した指導を心がけていく。
18	学校は、ホームページやお便り等で教育方針や子どもの様子を分かりやすく伝えている。		42	54	3	0	3					11	74	11	5	(教)学校では、毎月の「学校だより、学年だより、保健だより、少人数だより、給食だより、学年(英語だより)、道徳だより」や「ホームページ」「学校掲示」等で、学校の様子や児童の様子を具体的に知らせている。
19	学校は、家庭からの連絡や相談に対して適切に対応している。		55	42	2	1	3					20	75	5	0	(教)保護者から信頼していただける学校になるよう、努力を継続していく。スクールカウンセラーや地域サポート職員の協力も得て相談体制の充実を図る。
20	学校は、施設や設備などの環境整備を十分行っている。		45	49	5	0	2					10	90	0	0	(教)今年度は各教室にエアコンを設置することができた。今後も安全点検を確実に実施し、町教委の協力も得て環境整備に努める。
21	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。		45	48	6	1	13					11	72	11	6	(教)これまで一貫した姿勢で取り組んできているが、さらに継続して、未然防止・早期対応を心掛け、学校全体で共通行動をしていく。いじめ対応アドバイザーの先生との連携も図っていく。
22	学校は、PTAや地域とよく連携している。		48	49	3	0	4									(保)保護者と教職員が協力しながらPTA活動が行えている。今年度は新しく「夏祭り」を行うことができた。
23	家庭では、学校から配られる文書(学校便り、学年便り等)をきちんと見ている。		42	49	8	1	0									(保)学校から情報を発信し、家庭と協力した取組になるよう努力していく。ホームページやメール配信などの有効活用も考えていく。
24	家庭では、子どもの家庭学習の習慣づくりに心掛けている。		33	55	11	2	2									(保)ステップアップ週間の取組をさらに充実させる。また、家庭と協力しながら児童の学習習慣づくりを行っていく。
25	家庭では、生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯、テレビ・ゲーム時間等)づくりに心掛けている。		33	53	13	1	0									(保)保健便りを中心に、学校から情報を詳しく発信し、家庭と協力した取組になるよう努力していく。
26	家庭では、学校や友だちのことを家族で話している。		50	43	7	1	1									(保)授業参観や懇談会、PTA講演会等の場を生かし、学校からも情報を発信して、学校での児童の様子が保護者に伝わるように努力していく。
27	わが家は、学校行事やPTA活動に参加している。		28	55	14	3	1					14	67	14	5	(保)全員が参加していただけることを目標に、さらなる啓発を図っていく。

<今後に向けて>

- ①児童の自主性を大切にする場を設定する。
- ②褒める場を意図的に設定し、一人一人を多様な観点で認め・励ます。

キーワード 「児童に任せて、認めて褒める」→自己有用感を高める

元年7月 保護者アンケート ご意見・ご質問とその回答

ご意見

【学習面（朝学習も含む）について】

○ステップアップカードの取り組みは、期間も決まっています、集中してがんばっていたので、よい取り組みだと思いました。先生に押しもらう判子や丸や花丸が、本人のやる気につながっているようで、ぜひこれからもお願いします。（同意見7）

○ステップアップ週間があることで家庭学習のペースが乱れてきても修正していける感じがします。

○漢字テストの様子を見ていると、ステップアップの内容を見直した方がよいのではないかと思います。よい点を取って自信をつけた方が、子どものためになるのではないかと思います。

○学力テストをたまに行っていますが、今どれくらいのレベルなのか知りたいです。

○図書館のイベントを毎回楽しみにしていて、スタンプラリーやピンゴをそろえるために本を借りに行っていて、このまま続けてほしいなと思います。（同意見7）

○読書感想文の宿題は、学校で書き方をよく指導していただきたいです。

○金曜の英語の日に、楽しみながら英語を使ってよいと思います。

○英語やプログラミング学習を続けてほしいです。

○英語の授業で、具体的に何をしているのかわかりたいと思います。（宿題とかがないので）

○低学年ですが、学力診断テストは導入する予定はないのでしょうか。他郡市でしている学校があると聞き、少し気になります。

○3年生からの少人数教室に感謝しています。少人数だとリラックスできるおかげか、勇気を出して自分の意見を発表できると子どもが話していました。

○総合での社会科見学はよい経験になっていると思います。

○算数の問題（文章問題）が、昔と比べると、なんとなく複雑になっている気がしました。

○道徳の勉強など、常識的なことを特にしっかり学ばせてください。

○水泳の授業の際に、ラッシュガードの着用を検討していただけたとうれしいです。

○配布されるはずの宿題をもらっていないことが度々あり、困ることがあります。

○前の学年の時より、学校からの忘れ物が多くなった。

○授業参観で、授業にまとまりがないと感じました。話を聞いていなかったり、ふざけていたりしゃべっていたりする子が多くて、普段授業をしっかり受けられる環境になっているのか心配になりました。悪い事はしっかり指導してほしいと思いました。宿題のノート等を配り忘れていて宿題をできないことがよくあるので改善してほしいです。宿題も丸をつけてもらっていない日もあるので、丸つけを忘れずお願いします。学校でやって採点してもらったプリントを、3年生になってから持ってこなくなりました。家では授業がどれくらいわかっているかを把握したいので、その都度持ち帰らせてほしいです。

回答

●ステップアップ週間は、子どもの基礎学力定着のため、2学期以降も継続していきます。漢字についても、事前にどんな問題かを知らせ、よい点をとれるよう、家庭で練習できるようにしています。保護者の皆様には、丸付けやコメントなどのご協力をお願い致します。

●読書については、図書館のイベントを楽しみに図書室に本を借りに来る子どもがたくさんいますが、貸し出し数に個人差も見られます。これからも楽しいイベントを行いながら、学年やクラスでも子ども達の貸し出しの様子を見ながら、読書を呼びかけていきたいと考えます。

●ラッシュガードを含む水着については、お子さんの身体状況に応じて着用できます。担任・養護教諭にご相談ください。

●授業については、子どもが「わかった、できた」と実感できる楽しい授業をめざす一方で、学習規律についても大切にしていきたいと考えます。子ども達が落ち着いて授業に取り組めるように、級外や管理職、支援員も含め、全職員ですべてのクラスに目を配っていきます。また、宿題プリント、丸つけをしたプリントの配布も、配り忘れや返す時期が遅くなることのないように留意します。お気づきのことがありましたらお知らせください。

ご意見

【生活面について】

○あいさつ運動を、ぜひ継続していただきたいと思います。

○自分のがんばっているところを、ほめてくれる、認めてくれることがうれしいようです。学校生活のモチベーションにもなっているようです。よいところを見つけて伸ばしていこうという、学校の雰囲気です。そのようにご指導していただいているおかげで、「自分のクラスはすごくよいクラスでみんな仲がいいし、先生も面白い。」など、自分自身や先生、クラス・学年や清湖小学校にとっても肯定的で自信をもっているのが伝わってきます。自分たちならできる、がんばれるという気持ちにさせてもらい、いきいきとしていて、うれしく思います。いつもありがとうございます。

○ほほえみグループで、他学年の子と交流をもてるのはよいと思うので、継続してほしいです。上級生が気にかけてくれる環境は、本人にとっても親にとっても安心できて、今後も自分の目標になるようなお兄さんお姉さんが身近にいるのは、よいと思います。

○夏休みの作品を学校に見に行くこと、残った作品しかないもので、入選した作品も展示してほしいです。

○トイレが汚れていて入るのが嫌だと言うことで、便をよく我慢してきます。そのため、腹痛を訴えることが多くなりました。今の子どもたちは、和式に慣れてないので、失敗しやすいと思います。お忙しいと思いますが、時間ごとにトイレチェックを先生方でやっていただけたらどうかと思います。

○子どもたちにトイレ掃除をさせるのは、不衛生だと思います。きれいに掃除をするのが難しいと思います。清掃員をお願いする方がよいと思います。

○月曜日（金曜日）に、荷物が多い日は、教科書等が少なくなるような時間割にできないでしょうか。ランドセルが教科書ノートでいっぱいになってしまい、袋が入らないと、晴れた日はよいですが、雨の日などは体操服などがランドセルに入りきらないため、濡れてしまいます。

○置き勉をしても良いのではと思います。ランドセルが重くてかわいそうに思う時があります。

回答

●あいさつ運動やほほえみ活動、きらきらカード等は、今後も継続しながら子どものよいところを認め、子ども達の自己肯定感を高めていきたいと考えます。

●トイレ掃除は、子どもだけではどうしても行き届かないことがあるので、教師がいっしょに掃除をしたり、校務士が定期的に掃除をするようにしています。また、トイレについてご心配なことがありましたら、担任や養護教諭にご相談ください。

●置き勉については、学校だけでなくお知らせしたように、学習に支障のない範囲で行います。音楽・図工・英語・道徳等の教科書やノート等は宿題に使わない時には学校に置いて帰ります。

ご意見

【その他】

○校務士さんが庭をきれいにしてくれて、石川県の形をしている話をしてくれたりとか、6年生がお手伝いをしてくれてありがとうと思うなど、周囲の環境に目を向けたり気付いたり、感謝したりすることが増え、そのような心の面も育ってうれしく思います。

○先生にいつも優しくしてもらっていると本人も話しています。ご多忙にもかかわらず、子どもとの時間を大切にいただきありがとうございます。

○行事の案内やお知らせ等分かりにくかったり、不十分なことが多い。もう少し細かくわかりやすく丁寧であってほしい。連絡帳で先生に聞いたりするのは二度手間だと思う。先生にも申し訳ない。（同意見1）

○以前参観日の際に、朝の歌の準備が早く終わった2組の子どもたちに、1組の子どもたちが「遅れてごめんね。」と声かけをしている姿を見ました。相手に対する思いやりや共感などという意味では大切だと思いましたが、悪いことをして遅れたという事でもないので、謝ることに少し違和感を覚えました。それに対して「いいよ。」と返事をするのも同様に感じます。「待っていてくれてありがとう。」「どういたしまして。」など感謝の気持ちを伝える方が、自然ではないかなと思いました。

○とても子どもによくしていただき、感謝しています。先生方の負担が少しでも減り、さらに子どもたちと楽しく学校生活を送っていただけるといいなと思っています。

○親子レクがとても楽しく、子どもたちもうれしそうだったので続けて欲しいです。

○低学年であることや、子どもの性格上時々心配になることがあるのですが、その時は気軽に先生に相談しても良いのでしょうか。（先生の残業や負担が近年問題になっているので）

○PTAや役員の仕組みがわからない。子どもにつき、一回必ずしなければならないものなのか。各役員の業務内容やシステムを知りたいです。任期なども年末に役員募集や自薦他薦のアンケートが来ても、どんなことをするのか知らないで返事に困っています。

○先生が子どものことを呼び捨てで呼んでいるのを聞いたのですが、学校の方針なのでしょうか。私は呼び捨てで呼ぶのはあまり良いとは思わないのですが。

○学校からのお知らせで白黒の写真を見ることがありますが、正直誰が写っているのかわからないので必要性を感じません。見えにくいものを配布する位なら、写真はホームページに任せて、インク代を節約した方がよいのではと思います。

○校内の地図のようなものを玄関にでも用意していただけたらよいかなと思いました。3年生の教室の場所や、2階から体育館へのルートなどで、迷ったことがあったので。

○行事を月末月初に入れなくて欲しい。6年間1度も見に行くことが叶わない。（マラソン大会）子どもは見に来てと言うが、仕事の都合で不可能。2年に1度は中旬で開くとかしていただけたらありがたいです。

○先生たちの個人の考えを、もっと大事にしたらいいと思います。

回答

●友達に待ってもらった時には、その場の状況にあわせて、「待っていてくれてありがとう」などの言葉を使えるように声かけをしていきたいと思っています。

●お子さんのことでご心配がある時には、遠慮せずにご相談ください。相談先も内容によって、担任、学年主任、養護教諭、管理職等ご都合のいい相手をお知らせください。

●教師が子どもの名前を呼ぶ時は、基本的に「～さん」をつけて呼ぶようにしています。また、子どもどうしても、授業中は「～さん」をつけて呼ぶようにしています。

●マラソン大会は、かけ足運動の成果の場として行っています。そのため、ある程度の練習期間が必要となります。また、石川県の教育ウィークの時期とも関連があり、例年10月末または11月はじめに行っています。お仕事の都合もおありかと思いますが、ご了承お願いいたします。

その他

●個別の担任に対していただいたもの、職員全体に対していただいたものなど、たくさんのご意見・ご感想がありました。担任に対してのものはそれぞれの担任に、職員全体の姿勢については職員会議などで確認・検討をし、改善を図りながら今後の参考とさせていただきます。これからも本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。